

3月16日(日)

やっと眠ったと思ったら、夜中の2時半頃ニューギニア上空を通過中に気流が悪く、にぎやかにシートベルト着用サインが付き、クルーがチェックしてまわったため多くの人が目をさました。幸い15分ほどでサインは消えて、トイレも使用できるようになりました。

4時過ぎには機内が明るくなって、軽食(紙パックのジュースと牛乳、シリアルとマフィン)が出されました。眠そうな生徒たちですが、食べているあいだに空の一部が赤くなっているのに気づき、日の出に向かう様子を写真に撮っては大はしゃぎ。

7時少し前に無事ゴールドコースト空港に到着。タラップを降り、歩いて建物に向かいます。高松空港よりも田舎な感じです。

現地ガイドさんに迎えられ、バスでポイントデンジャーという観光名所へ。大きな波が押し寄せる雄大な景色に生徒のテンションもあがっておりました。その後サーファーズパラダイスのビーチへ。風が強くてこの日は遊泳禁止でしたが、日曜日とあってたくさんの人が肌を焼いたりのんびり散歩をしていました。

昼食は11時半からドイツ風レストランで、スープとマッシュポテトやさやいんげんが付け合わせについたオージービーフのステーキ。贅沢です。疲れと暑さで食欲がないかと思いきや、男子にきくと「もっと食べたかった」「まだ食べられる」とのこと。

昼食後はバスを待つあいだ30分ほどショッピングモールを散策しました。ゴールドコーストのなかでは一番の繁華街のあたりで、いろんな国の観光客が歩いていますが、治安は悪くなさそうです。出発直前に変更になった帰国前日に宿泊するホテルもこのあたりだと説明を受けました。

13時現地ガイドさんと別れてバスでサンシャインハイスクールへと向かいます。途中一回トイレ休憩をはさみ16時過ぎに到着。同じような風景がずっと続くなか、車中の生徒たちはほとんど眠っていました。

ホストファミリーが迎えに来てくださっていて、会えた生徒からどんどんホームステイ先へ。スムーズにひき合わせが出来ました。残念ながら、年々受け入れ先が減ってきており、今回は3人だけがひとりでステイします。他はみなふたりひと組です。ステイ先にドイツやブラジルやノルウェーの留学生がいる家庭もあって、受け入れてくれる家庭は熱心なようですが、今回3月に入ってからなかなかステイ先が決まらなかったことから、そういう家庭は少なくなっていることがうかがえます。今回ステイする生徒たちが、いい印象を残して、受け入れ家庭が増えていくといいのですが。

